



なんたん市議会だより

かけはし

No.76 / 2025.1



日吉ダムでの撮影の様子
田中監督を中心に、スタッフ・キャストの皆さん

Contents

- 『頑張る人たち』訪問
ひよし魅力発信プロジェクト
- 12月議会ではこんなことが決まりました
- 常任委員会ではこんな議論になりました

訪 問 『頑張る人たち』

ひよし魅力発信プロジェクト 日吉町映画部

たなか 田中	たいし 大志
ふなこし 船越	たかし 卓
いじり 井尻	かずひと 和仁
まえだ 前田	あつこ 敦子
なかはら 中原	かおり 香織
たはた 田畑	しょうご 昇悟
いしかわ 石川	つよし 剛

日吉町在住のキャスト、スタッフ一同

「ひよし魅力発信プロジェクト」は市民の手で日吉町発の、地域を題材にした映画の制作をされています。第1弾「地蔵に願いを」に続き、12月には日吉ダム建設で水没した天若集落^{あまわか}を題材にした「天道花^{てんとうばな}」を発表されました。



地域の温かいつながりを大切にしながら、一人でも多くの人に
ふるさと日吉の良さを伝え、後世に残していきたい。

どのような活動をされていますか

日吉町の伝統文化や風景、失われつつある伝統行事等を記録に残し、後世に受け継いでいくことを目的に、地域内外の方々に日吉町に愛着を持ってもらえるツールの一つとして映像制作を行っています。

スタッフ、キャストは全員南丹市民。ロケ地もすべて日吉町内。映画は現在第2弾まで完成。南丹市内各地域や日本中で上映会を

開きたいと思っており、第3弾、第4弾の映画作りも始まっています。

活動を始められたきっかけは

コロナ禍で、地域住民の方が、「地域のつながりや行事が縮小され、このまま無くなってしまつのは悲しい。映画という形で映像に残せないか」と考えておられました。そこに、たまたま「地域住民と映画を撮りたいな…」と考えておられた田中監督が日吉町へ

今後の展望をお聞かせください

第3弾、第4弾の映画制作に取り組んでいます。また、上映会を定期的に開催し、日吉町の風景や伝統行事を多くの方々に観ていただきたいと思っています。

映画を通し、子供たちが自分のふるさとを

愛し、自信を持って「日吉町の出身だ!!」と言える未来を描いています。

南丹市のまちづくりについて、どう思われますか

子供が減りつつある今日、保幼小中が連携し、「ふるさと学習」の機会が多く作られていることをうれしく思います。「まちづくり」という大きな課題には、一つ一つの小さな課題解決が必須です。放置するのではなく住民として声を上げることが、まちづくりに一緒に取り組むことだと考えています。

今回の映画プロジェクトにあたり、南丹市に後援をいただき、心より感謝しています。

南丹市や議会に望むことは

地域にあるさまざまな団体やグループの活動に興味を持っていただき、行政、議員関係なく、ぜひ、いち南丹市民として参加していただければうれしいです。南丹市だからこそその良さを消すことなく、地域の魅力をもっともっと発信していき、関係人口が増えることを願います。

(取材者／吉田・樋口)



Pick Up!
4 新たな土地の取得

京都新光悦村工業団地に隣接する公益財団法人京都中小企業振興センター（KPC）所有のグラウンド用地を新たな産業用地として活用するために取得。取得予定価格は2億5720万円です。



京都新光悦村

Pick Up!
5 市役所2号庁舎耐震改修工事

1号庁舎に続き2号庁舎の耐震改修工事が行われます。一般競争入札の結果、契約金額3億3062万400円で工事請負契約を締結。工期は6年12月から7年8月までです。



市役所2号庁舎

Pick Up!
6 小・中学校タッチペンの整備

小・中学校のGIGAスクール運営支援に係る情報教育機器整備事業を実施し、タブレット端末で使用するタッチペンの整備。
小学校207万7千円、中学校321万8千円です。



タブレット端末による学習

Pick Up!
7 豪雨で被災した市道の復旧

11月2日の豪雨により地滑りの予兆が確認された市道城南小山線（園部町）の災害復旧費が増額されます。



復旧予定の市道

12月議会では こんなことが 決まりました

会期 11月26日～12月20日

- ◆ 議案・・・・・・・・ 37件
- ◆ 請願・・・・・・・・ 1件

議会が注目した主な事業

今号では、この中から次の7つをピックアップします。

Pick Up!
1 伝統的建造物群保存地区の市税の特例

伝統的建造物群保存地区の家屋の敷地における固定資産税の減免措置について、減免から不均一課税の運用に変更されます。税率は100分の0.75です。

これまでは課税後に申請手续が必要でしたが、7年度の課税から対象住民の方の手續が不要になります。



かやぶきの里

Pick Up!
2 南丹市税条例の一部改正

法人市民税均等割の税率を見直し、標準税率から制限税率（1.2倍）に引き上げ。また、軽自動車税種別割の納期を4月から5月（5月1日～5月31日）に変更されます。いずれも8年4月1日の施行です。



Pick Up!
3 南丹市氷室公園条例の一部改正

八木氷室公園の農村田園文化コミュニティセンターを普通財産として施設の有効利用が図られます。

※「普通財産」とは
行政財産（自治体が行政目的で用いる財産）以外の公有財産のことで、特定の用途または目的を持たないため、貸付、交換、売却等を行うことができるもの。



農村田園文化コミュニティセンター



〈主な質疑のみ掲載しています。〉

常任委員会では、 こんな議論になりました



委員長報告とは？



各常任委員会に付託された議案等の審査の経過と結果を、本会議の場において委員長から口頭で行うことをいいます。



本会議での委員長報告

総務 常任委員会

法人市民税均等割を標準税率から制限税率に引き上げ

Q 引き上げにあたり、小規模事業所や法人、企業へ配慮はされなかったのか。

A 現行の標準税率では財政が厳しい。周知を十分に図ったうえで、多くの府内市町村と同様に全ての企業に制限税率を適用させていただきたい。

八木図書室の移転経費

Q J A 京都本店が移転するということで、八木図書室が八木支所に移るようだが、その経費に一般財源を充てるのはおかしいのではないか。

A 図書室の移転は、J A 京都本店移転の話が出る前から予定していたものである。

トライアスロン大会へのふるさと納税寄附金の充当

Q 大会の財源であるふるさと納税の寄附金は特定財源でなく、一般財源で受けるということではないのか。

A 今年度からふるさと納税の寄附金は一般財源で受けることにしている。ただ、目的を持った一般財源としているので、他に充てることはなく、しっかり予算管理をしている。



スタートを待つトライアスロン競技の参加選手

文教厚生 常任委員会

自立支援給付費の利用と介護職の報酬改定

Q 障害者福祉費の自立支援給付費が大幅な伸びだが、主な要因は。

A 重度訪問介護とグループホームの利用が増えている。また、6年4月から介護職の報酬改定により大きく増額となっている。

支援センター施設整備

Q 発達支援センター改修の内容は。

A 誘導灯2基の交換が必要な時期にきていることから修繕費を計上した。

評価指数による交付金の増額

Q 保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金が前年度と比べてどれくらい交付状況に変化があったのか。

A 保険者機能強化推進交付金



発達支援センターの誘導灯

では、5年度335万4千円、本年度は346万3千円と若干の増加となる見込みである。介護保険保険者努力支援交付金では、5年度454万4千円。本年度は771万5千円になり、かなりの増額となる。

学校給食食材費を増額

Q 食材費が増額しているが、内容は。

A 食料品の物価高騰により保護者負担金だけでは費用が賄えず、6年度は市の持ち出しが約3千万円となる見込みである。栄養教諭も献立を工夫している。

産業建設 常任委員会

南丹市八木氷室公園条例の一部改正

Q 農村田園文化コミュニティセンターを、普通財産として利用することだが、将来的に売却等は考えているのか。

A 今回貸し付けの申し出があったJ Aも含め、今後の利用方法について、この施設だけではなく、できる限り譲渡など良い方向に進めたいと考えている。

南丹市水道法施行条例の一部改正

Q 技術者の資格要件緩和により、新たな職員採用などの見込みは想定されているのか。

A 他の分野の実務経験が加味されることによって、事実上の実務経験年数等が短くなり、布設工事の監督者や技術管理者の確保が容易になると考えている。



赤枠が取得予定のKPCグラウンド施設

賛成全員で可決した議案

区分	件名	結果
議案	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定	可決
	南丹市伝統的建造物群保存地区における南丹市税条例の特例を定める条例の制定	
	南丹市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
	南丹市都市計画税条例等の一部改正	
	南丹市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	
	南丹市水道法施行条例の一部改正	
	南丹市公共下水道条例の一部改正	
	南丹市農業集落排水処理施設条例の一部改正	
	令和6年度（債務負担）南丹市2号庁舎耐震改修工事請負契約	
	土地の取得	
	公の施設の指定管理者の指定（南丹市八木西地区自治振興会館）	
	公の施設の指定管理者の指定（南丹市八木南地区自治振興会館）	
	公の施設の指定管理者の指定（南丹市八木北地区自治振興会館）	
	公の施設の指定管理者の指定（南丹市八木神吉地区自治振興会館）	
	公の施設の指定管理者の指定（南丹市八木障害者支援施設）	
	公の施設の指定管理者の指定（南丹市日吉障害者支援施設）	
	公の施設の指定管理者の指定（八木駅前自転車等駐車場）	
	6年度南丹市一般会計補正予算（第4号）	
	6年度南丹市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
	6年度南丹市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	
	6年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	
	6年度南丹市水道事業会計補正予算（第2号）	
	南丹市会計年度任用職員の報酬、勤務条件等に関する条例の一部改正	
	南丹市特別職員の給与に関する条例の一部改正	
	南丹市職員の給与に関する条例の一部改正	
	南丹市市営バス会計年度任用職員の給与、勤務条件等に関する条例の一部改正	
	6年度南丹市一般会計補正予算（第5号）	
	6年度南丹市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	
	6年度南丹市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	
	6年度南丹市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）	
	6年度南丹市水道事業会計補正予算（第3号）	
	6年度南丹市下水道事業会計補正予算（第2号）	
	南丹市議会個人情報保護条例の一部を改正する等の条例制定	
	南丹市議会個人情報保護条例の一部改正	

賛否の分かれた議案等

〈○は賛成 ×は反対〉

会 派 名					つ な ぐ					新 誠 会				活 緑 ク ラ ブ				日本共産党 議 員 団		公 明 党		新 風 会		
議員名					谷 尻 宣 雄	小 中 昭	吉 田 尋 子	山 下 秋 則	谷 尻 昌 史	前 田 義 明	仲 村 学	西 村 好 高	堤 博 明	樋 口 浩 之	八 木 信 樹	若 井 睦 巳	村 山 好 明	下 間 康 広	小 林 毅	河 野 啓 介	平 田 聖 治	木 戸 徳 吉	塩 貞 孝 之	木 村 裕
案件・結果																								
南丹市税条例の一部改正					可決	○	○	○	○	議長のため 採決に 加わり ません。	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
南丹市八木氷室公園条例の一部改正					可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
南丹市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正					可決	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
地域活性化センターの指定管理継続に関する請願書					不採択	×	×	×	×		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×

南丹市税条例の一部改正

反対

日本共産党議員団 小林 毅 議員

法人市民税均等割の税額を一律20%引き上げるもの。税金の均等割は、経営状態・収益状況に関わりなくかかる過酷な面をもつ税金だ。小規模な法人や公益法人だと、現行の5万円から6万円に税負担が増える。物価高騰が、市民の暮らしと経営を脅かしているなか、事業者支援の取り組みが強く求められている。こんな折に増税をやってはいけない。

南丹市八木氷室公園条例の一部改正

反対

日本共産党議員団 小林 毅 議員

八木氷室公園の施設から「農村田園文化コミュニティセンター」を削り、JA京都に貸し付けていく予定が報告されている。収入は5万6千円、一方支出は約135万円。有益な活用方向を検討していくことは当然だが、八木支所図書室のJA本店への貸し付けが報告され今度もJA。競争原理もなくJA京都に貸し付けていくやり方には反対である。

地域活性化センターの指定管理継続に関する請願書

反対

つなぐ 山下 秋則 議員

市の厳しい財政状況から施設整理は必要だが、地域振興の取り組みは重要で、行政の支援が不可欠。市では、地域振興会の理解を得ながらサウンディング調査を進めるとしていることを踏まえれば、現状どおりの指定管理の継続等を求めるより、市との個別協議を通じて「地域振興の拠点」を確保していくことの方が将来に向けたより良い方策と考える。

賛成

日本共産党議員団 小林 毅 議員

①旧小学校跡地は、それぞれの地域振興・発展にむけて代わることでないよりどころとなっている。②引き続く指定管理の継続で、地域振興への確かな歩みをさらに伸ばしていけるよう手をたずさえていくことが行政に求められている。③各地域でコミュニティを形成してきている。結果として市にとっても財政面を含めて大きなメリットが生まれる。

賛成

新誠会 堤 博明 議員

この請願は多くの地域の皆さんの想いが詰まった請願である。皆さんが、これまで地域のために一生懸命に築き上げてこられたことを評価してあげてください。言葉だけじゃなく！地域の皆さんは、しんどいし続けられないからやめようと言っている訳じゃないんです。地域の火を消さないでください。多くは語りません。もっと寄り添ってください。

討論

※記事は原則として各議員から提出された原稿を掲載しています。

Q どうなる「女性の館」の活用は

A 都市緑化フェア時に休憩施設として活用



改修が予定される女性の館

その他の質問

- ・学力の定着と今後の学校教育の方向性

つなぐ よしだ ひろこ
吉田 尋子 議員



Q 女性の館は、女性の社会参加や能力開発の場として設置され、講座やサークル活動の拠点として活発に利用されてきたが、市長の見解は。

A 設置当初は男女共同参画の拠点として、現在は運営委員会を中心にさまざまなサークル活動を行う社会的条件づくりの場となっている。

Q 8年都市緑化フェアに向けて、用途変更を視野に入れた改修が計画されているが、内容は、また、改修時、改修後、サークル活動の場をどのように保障する。

A 喫茶スペースや園部城の歴史展示、女性の館の活動を紹介する休憩施設として活用したい。都市緑化フェア終了後も、休憩施設、観光客が体験できるスペース、公園利用者がくつろげる場として利用する計画。運営は、指定管理や民間委託を含めて検討していく。

これまでの活動スペースを全て廃止するのか、共存するのは結論が出ていない。女性の館の運営委員会が継続する場合は、相談しながら決めていきたい。

Q 京都市の新ごみ処理施設に本市も参画を

A 選択肢からは排除せず京丹波町と検討する



カンポリサイクルプラザ跡地

その他の質問

- ・地域振興について

新誠会 にしむら よしたか
面村 好高 議員



Q 京都市長が西京区の旧西部クリーンセンター跡地を候補地として新ごみ処理施設建設を検討すると表明された。本市のごみ処理施設は平成30年度にカンポリサイクルプラザが撤退後は京都市や亀岡市、三重県の民間企業にお世話になってきたが、今回のこの表明について市長の所見は。

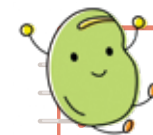
A 本市と京丹波町で構成する船井郡衛生管理組合単独でごみ処理施設を確保するには負担が大き過ぎる。今年になって京丹波市が全国に呼びかけ、一般廃棄物処理施設の整備を検討している。

Q 京都市では来年度から新ごみ処理場建設に向けた審議会を開催するとのことだが、本市の方向性を近々に決める必要があるのでは。

A 建設費用の負担など不確定要素が多くすぐに飛びつくことはできない。現在、船井衛生管では公民連携による施設のサウンディング調査を実施している。その結果を待ちたい。

3日間17人の

一般質問



市議会の豆ちしき

一般質問の持ち時間？

南丹市議会では、議員申し合わせによって、一般質問の持ち時間を1人45分と定めています。この45分は、執行部の答弁時間を含んでいます。



議場のモニターに残時間が表示されます。



議員質問席でもわかるようになっています。



一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長等に対して質問を行います。
(P10～18の記事は各議員から提出された原稿を質問順に掲載しています。)

動画視聴できます！

市議会ホームページの「議会映像配信」にアクセスするか、スマートフォンやタブレットで各議員のQRコードを読み取ってご覧ください。



Q 消防団の出動実態に合わせた手当の支給を

A 8年度以降に手当などの見直しを進める



出動手当の拡充を

その他の質問

- ・11月2日の大雨による被害及び対策について

新風会 しおがい たかゆき
塩貝 孝之 議員



Q 消防団の実情に合わせた組織体制の構築が必要ではないか。

A 現在の支団体制を大きく変えていく方向で検討を進めている。また、機能別消防団を創設していきたい。

Q 循環型社会実現のため、下水汚泥の堆肥化が有効であると考えられる。しかし本市では下水汚泥のみならず、八木バイオエコロジセンターや船井郡衛生管理組合など、関連する事業体があるため、担当部署のみの検討では

限界がある。部署をまたぐ検討体制について、市長の見解は。

A 上下水道課、環境課、農林部局などが協議しながら、今後の協体制をつくっていくのが大切であると思う。

Q サンガタウンの誘致について可能性は。

A 真正面に声がかけていく状況も十分考慮しながら取り組んでいきたい。ただし、土地がない状況の中で、もしものときには提案できる可能性はあるのなのか検討はしている状況である。

Q 水道料金値上げを回避するよう求める

A 大切なインフラが安定的に継続できるよう努力



料金改定にふみ込んだ
「水道事業ビジョン2024」

日本共産党議員団
こばやし 小林

つよき 毅 議員



Q 市は今年3月、水道事業ビジョン2024を策定した。計画では、机上の計算ではあるが25%の料金改定が必要といった説明もされている。市の水道事業は内部留保金を現金・預金で25億円保有している。直ちに会計が破綻する状況ではない。

A 仮に25%の値上げとなると、月に20ト使用で、上水道料金は4050円、下水道料金は4400円になる。合わせると月8450円にもなる。

8年度の料金見直しは延期して、値上げを回避していくよう求めたい。

その他の質問

・投票所廃止地区の投票率大幅後退の検証が必要

Q 5年間で38億円 財政健全化プランとの整合性は

A 何もかも削るのではなく夢のある取り組みも必要



木質バイオマスボイラー施設
(美山町・河鹿荘)

つなぐ やました 山下
あきのり 秋則 議員



Q 5年間で約38億円（うち市費4・6億円）を投じる地域脱炭素重点対策加速化事業の財政健全化プランとの整合性は。

A 積み残された事業ではなく、新たに取組む事業。何もかも削るのではなく、夢のあるまちづくりに取り組みたい。

Q 本事業によるCO₂削減目標は。

A 2030年の削減目標としては50%を見込んでいる。

Q 本事業では個人住宅用太陽光発電施設の設置を5年間で220件計画しているが、最近5年の実績は年間20件

その他の質問

・外出支援サービスの利用者負担額の見直しについて

Q 物価高騰に対し、早期の支援策と相談体制を

A 国や府の相談支援体制と連携し、支援に努める



市発足20周年に続き
全国都市緑化フェアも開催

活緑クラブ やぎ 八木
のぶき 信樹 議員



Q 国の補正予算成立後、本市に支援に関する詳細が届くが、住民や事業主向けの相談体制と支援体制が必要では。

A 国や府の相談支援体制と連携を図りながら、支援に努める。

施設内の有効活用に企業や室内遊具の検討を

Q 八木図書館移転後の既存施設の活用方法は。

A J京都から問い合わせがあり、施設の有効利用等が図れることからJ京都に貸し付けを行っていきたい。

寄附者の思いが直接届けられる仕組みを

Q ふるさと納税寄附金

の使い道に各スポーツ少年団や地域の振興団体、消防団、機能別消防団などさまざまな団体を登録し、各々の活動資金につながるようには。

A 今後も寄附者の意思を尊重し、寄附金の使い方を考えていく。

本市発足20周年に向け、文化庁や団体の協力を

Q 近隣の大阪関西万博、緑化フェアと続く重要な機会では。

A 8年1月、本市発足20周年を契機に観光資源を生かした取り組みなど市内外へ発信し、交流人口を増やす。

Q 国の補正予算を活用して現役世代に支援を

A 支援の取り組みが、皆さまに届くようにする



消防ホース格納箱

公明党 きど 木戸
とくきち 徳吉 議員



Q 政府は、補正予算を組む予定であるが、その中で自治体独自の物価対策に使用できる項目がある。現役世代にも支援をするべきだ。

A 総合経済対策において、物価高の影響を受ける低所得者世帯向けの給付金が非常に大事である。併せて地域の実情に応じた物価対策を後押しする重点支援交付金で、具体的な取り組みを進める。

Q 報道等によると重点支援交付金は前年より多く交付される予定なので、それを活用して現役世代に支援できないか。

A 物価高騰対応重点支

援地方創生臨時交付金の推奨メニュー分として総額6千億円が昨年より1・2倍の額が交付される予定である。

防災減災の観点から消火栓ボックスの点検を

Q 消火栓ボックスの機材が盗難にあったと報道されていたが、本市の状況はどうか。

A 火災時の初期消火で非常に大切な役割を果たすものである。消防団において定期的に機材の点検を行っている。機材盗難報道を受けて今回、各支団を通じて点検実施を指示した。現時点で異常はない。

その他の質問

・衆議院選挙結果について

Q 本年度冬期の除雪対応等と準備は

A 道路除雪計画に基づき適切な除雪対応を行う



雪による倒木での農業用水路被害

その他の質問

- ・高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて

活緑クラブ むらやま 村山 好明 議員



Q 近年は、異常気象による多くの自然災害が発生している。本年度冬期の除雪対策は。
A 南丹市地域防災計画の道路除雪計画に基づき、関係機関等と連携し行う。
Q 地域で対応しているトラクター等による除雪作業の課題認識は。
A 地域の高齢化・担い手の不足等で、地域除雪の継続が困難になってきていると認識しているが、広大な本市を守るためには皆さまのご協力がなければ対応できないのも現状である。引き続きご協力をお願いしたい。

Q 大雪時の停電等の対応及び関係機関との連携は。
A 停電や大雪災害時は市民の皆さまの安全を最優先に、一体となった対応を行う。
Q 大雪時の停電等の対応及び関係機関との連携は。
A 停電や大雪災害時は市民の皆さまの安全を最優先に、一体となった対応を行う。
Q 学校部活動の状況
A 学校部活動における地域連携や地域移行の今後の予定及び課題は。
A 広大な本市、生徒数の減少や部活動指導員の確保等で厳しい状況である。特に、集団スポーツ等に取り組みづらいつつ、子供たちの実態に応じた取り組みを進めたい。

Q 通学路の安全確保のため除草は必要ではないか

A 住民には負担をかけるがご協力いただけないか



雑草が生えている通学路

その他の質問

- ・財政健全化 その先について
- ・マンホールのふたの活用について

活緑クラブ わかい 睦巳 議員



Q 通学路は安全であることが大前提であると考え。また徒歩で通学している子供たちにとっては、歩きやすいことも重要である。
A しかしながら、夏休み明け頃には歩道に背の高い雑草が生えている状態である。子供たちは半ズボンやスカートなどで通学しており、通学路の安全確保という点ではあまり好ましくない。歩道の除草についての見解は。
A 通学路の安全確保に向けた基本方針として、かけた南丹市通学路交通安全プログラムの中で学校、教育委員会、

道路管理者、警察署等を構成メンバーとする南丹市通学路交通安全対策推進会議を設置し、危険箇所を一緒に合同点検を実施するなど、対策の検討と実施を行っている。交通安全の観点だけではなく、草刈りや街路樹の枝切りについても、要望があれば該当する道路管理者と共有して対策している。
本市には学校運営協議会制度があり、地域の方のいろいろと協力してもらっており、連携をしながらやっていきたい。

Q 未整備も含め、計画から長い年月が経つが

A 地元にも一定のご理解をいただいている



未整備の都市計画道路

新誠会 まえだ 前田 義明 議員



Q 上本町線の現状は。
A 園部大橋上流部分は一定の通行ができ架け替えが終わり、現在下流へ拡幅のため仮橋を利用しながら実施している。上本町線の整備は国道の迂回路に合わせた暫定形状で整備し、国道9号と上本町線の工事区分については施工負担に関する確認をしているので上本町線の歩道部分は、本市で取り組んでいく。
Q 上本町線が未整備区間である理由と今後の見通しは。
A 府の河川整備とも整合を持ち周辺地域の関

連事業の状況により5年度に調査測量、予備設計業務として道路の概略に必要な調査を行った。今後は、府の都市計画道路河原町内林線の街路整備事業に併せた交差点計画、園部川の河床の切り下げ工事、都市計画道路に併せた宝福寺橋の架け替えも含めた事業との関連の整合を図り、着手時期を調整していく。
Q 現在の状況は。
A 市民からも意見聴取する。
人権政策条例の基本方針
針は

Q 八木支所内の配置移動後の活用は

A 施設を効率的に活用し利便性の向上を図る



南丹市Creative-lab

新誠会 つつみ 堤 博明 議員



Q 八木支所内に図書室を移動後、空室となった施設をJ A京都へ貸付を考えているとのことだが経緯は。
A J A京都本店の移動に伴い市有施設の利用を考えておられ、行政財産の貸付が可能であり、空室の利用を検討中である。
Q 人件費の見直しに合わせDX化を早急に進めるべきでは。
A 条件づくりや準備作業が進んでいない部分もあるが、電子決裁化や入札資格のオンライン申請化などを進めていく。

南丹市クリエイティブラボについて
Q 若手職員が、待遇・組織・事務改善・施策をテーマに議論しているが進捗状況は。
A 総務省のアドバイザーに意見を聞きながら多くの情報交換をしており、1月中旬に報告を受ける予定である。
メタン発酵消化液について
Q 消化液の実証実験の結果をふまえ、無臭で有用菌が多く、コストを抑えた処理方法を推進してはどうか。
A 積極的に検討していきたい。

Q 財政健全化説明会における市民の意見は

A おおむね理解をいただいたと感じている



市民参加の財政健全化説明会

つなぐ 谷尻 宣雄 議員



Q 4町において財政健全化説明会を開催されたが、説明会全般を通じて市長の所見は。

A 11月6日から16日まで、4会場にて説明会を持たせていただき、全体で128名の皆さまが出席され、挙手により意見をいただいた。財政健全化ということになると、行政のサービスを縮小するので、大変厳しい意見や、一方で、早く取り組みを進めて健全化を目指してほしいという励ましの意見もいただいた。結果は、おおむねこの健全化計画については理解いただいたよう

その他の質問

- ・小学校通学路の安全確保について

Q 地域ブランディング戦略の必要性について

A もう一度、振り出しに戻って考える必要がある



南丹市移住ガイドブック
「楽しい移住」

新誠会 ひろゆき 樋口 浩之 議員



Q 皆さんが使用されている車やスマートフォン、なぜその製品を選んだのか、信頼性、デザイン、価格、ブランドの持つストーリーなど、これら全てが企業ブランディングとして戦略的に培われたもので、これが消費者の購買行動に結びついている。

このような企業ブランディングを地域に当てはめ、移住先、観光、また、ふるさと納税先として、本市を選択していただけるようにしたいというのが地域ブランディングの役割である。

ブランディングは全ての事業や行動の方向

その他の質問

- ・そのべお城通りの歩道活用について

Q 感震ブレーカーの普及推進が必要では

A 火災の二次災害を防ぐ安全対策に大きな役割



公明党 ひらた 聖治 議員



難聴者や高齢者の健康と暮らしを守る補聴器

Q 感震ブレーカーの普及を推進することが必要では。

A 自動的にブレーカーが落ち、火災の二次災害を防ぐ器具であり、安全対策として、今後大きな役割を果たすと考えられる。しかし、認知度が低いため、消防署等関係機関と協力して認知度を高める取り組みを進めて普及に努めたい。

Q 購入費用助成の考えは。

A 新たな助成制度の創設は現状では難しい。補聴器購入費用の助成制度の創設を

その他の質問

- ・ハザードマップの窓口配布について
- ・GIGAスクール構想で配備された端末の更新について

が補聴器を利用することで、生活の質の向上や社会参加の機会を増やし、住み慣れた地域で健やかに生き生きと自分らしく暮らせるよう、補聴器購入費の一部を助成する制度を創設してはどうか。

A 補聴器の購入に対する費用助成については障害者総合支援法があるが、それ以外の制度を設けるとなると、市単独で動いていく必要がある。今後の検討課題とさせていただきたい。自治体が個別に対応するのでなく、国の一律な対策が必要と認識している。

Q 観光協会の一本化の狙いとは何か

A 観光の産業化に向けた展開が図れること



日本共産党議員団 こうの 啓介 議員



環境を生かした地域振興が観光業の基本

Q 観光協会一本化の狙いは。

A 7年4月に新たに南丹市観光協会を立ち上げる。市としてのまとまりの創出という理念的側面と、実働的效果という側面がある。観光情報発信機能の強化により、独自判断で戦略的かつスピード感のある観光宣伝促進が展開できる。

府観光連盟などの団体と直接の指導や支援・助言により変化する観光産業のニーズやトレンドをいち早く把握できる。ツアー、イベントの企画も4町をまたいで誘客できる。最大の狙いは、観光のさらなる産業化に向けた展開が図れること。

その他の質問

- ・「要望」の提出について
- ・建設の実施に向けた庁内の体制について

Q 地域振興の方針と展望は。

A 一般行政部門の職員は、全国的に減少している。社会問題に対して、行政のマンパワーに頼る方法ではなく、行政とNPO、地域団体、ボランティア組織、個人、企業などが「共演者」として、補い合う関係性をつくる必要がある。多様化が進んでいるなかで、さまざまな団体が経験や課題の共有と相互の理解を進めることが大切。



Q 水道水からPFASが検出され心配するが A 暫定目標値未満なので安心して使用いただける



新誠会 中村 学 議員

Q 全国の水道水からPFAS（有機フッ素化合物）が相次いで検出され、大きな社会問題となっている。基準を超える多量のPFASを摂取した場合、発がん性などの健康被害を引き起こす可能性がある」と指摘されている。

A 本市では昨年10月に市内全ての浄水場でPFAS検査が実施され、園部の船岡浄水場だけが検出された。国の暫定目標値である1リットル当たり50ナノグラムを大きく下回っており微量であるとの報告を受けたが安全性は。



船岡浄水場

その他の質問

- ・上下水道管について
- ・防犯対策について
- ・子どもへの性犯罪について
- ・相続登記について

Q 現行の暫定目標値の数値や位置づけについて、国は今後見直しをしていくと聞き及んでいる。本市では、年に1回、各浄水場の取水場で採水を行い、原水の水質の検査を実施しているが、昨年度、今年度も全て暫定目標値未満なので、安心して使用していただける状況である。検査結果については、市のホームページに掲載している。今後も水環境を監視し、水質には十分注意したい。



Q 大雨などの危険箇所の把握と対策は A ハザードマップを活用 市民の皆様も再度確認を



活緑クラブ しもつま やすひろ 下間 康広 議員

Q 11月の大雨では市内で多くの被害が出た。大雨などに対する危険箇所の把握と対策は。

A 現状の把握は南丹市総合防災ハザードマップを作成し行っている。対策としては関係部署や府の協力をいただきながら計画的に対策を推進している。

Q 雨水の流出箇所を見ると、府の治山設備があり、地形的に水を集める形状で多くの雨水が排出されるが水量に応じた水路設定ではない現状がある。早急な対応が必要と考えるが。

A 治山設備については全体を見ながら、しゅんせつや新設といった



早期の改善が望まれる素掘り水路

その他の質問

- ・消防団の待遇改善について

対策工事が早期にできるよう府にも要望していく。併せて、下流水路についても府と協議していきたい。

Q 同様の条件で、災害のような状況になっていた地域もあった。大きな災害につながる前に対策を講じるべきと考えるが。

A それぞれの担当課による状況把握はできているが具体的に進めるにはどうしても優先順位を付けながらになる。府とも相談や調整をしながら、進めていける環境をどうつくるか、知恵を出しながら努力していきたい。

委員会活動報告

総務 常任委員会

10月24日、小学校跡施設の今後について、所管事務調査を行いました。

調査のまとめで意見集約

今回は、摩気小学校跡施設、五ヶ荘地域活性化センター、大野地域活性化センター、鶴ヶ岡小学校跡施設の4カ所を視察しました。前回と同様に、施設の今後の活用について指定管理をされている各振興会、協議会はどのように考えておられるのか、現時点での率直な思いをお聴きしました。その後、委員会では、これまでの調査のまとめとして議員間で議論した結果、「活性化センターの状況はそれぞれ違うが、活動はどれも活発で、これまで積み重ねてこられた組織を何とか存続していただき、課題とされている後継者



摩気小学校跡施設での調査

※「サウンディング調査」とは民間事業者との意見交換等を通し、事業に対するさまざまなアイデアや意見を把握する調査のこと。

を得て、今後も継続して地域を盛り上げていただきたい」「南丹市を魅力あるまちにしていきたい」ためには、地域住民の力が欠かせない。地域振興は、地域住民が主体となり、行政の支援を得ながら取り組んでいくべきものである」との意見で一致しました。

今後のサウンディング調査の中で、市には、これまで以上にそれぞれの団体としてしっかりと対話を行い、地域振興に取り組むことを委員会として求めるものです。

総務 常任委員会

11月6～7日、岡山県新見市と徳島県阿南市を訪問し、行政視察を行いました。

JRと協定でオリジナルイコカ

新見市では、JR西日本との包括連携協定に基づき、オリジナルの「I-COCA（イコカ）」を活用した「電子地域ポイント事業」を展開し、キャッシュレス化を推進するとともに、市内商店等での消費を促進する「ポイント還元事業」により、市内商店等での利用を促す循環型の経済対策を実施されています。

また、地域交通対策としては、予約型の乗合タクシーを導入し、交通空白地域の解消に向けた取り組みを全市的に展開されています。

野球で地域振興、全国初

阿南市では、野球に特化した地域振興を全国で初めて実施されています。市、軟式野

球連盟、観光協会、商工会議所、女性協議会などさまざまな団体が参画する「野球のまち阿南推進協議会」が事業の中心となり、野球のまち推進事業を実施。野球の大会や合宿の誘致などで地域振興に取り組んでおられます。

JRとの連携による地域経済対策や、スポーツを柱とした地域振興など学ぶべき点が多くあり、本市のまちづくりに大変参考となる有意義な視察となりました。



新見市での視察

文教厚生 常任委員会

10月28〔29〕日、愛知県の長久手市と安城市を訪問し、行政視察を行いました。

校内・校外フリースクール開設

長久手市では、校内・校外フリースクールを開設し、不登校生徒の支援に取り組みれています。フリースクールは、生徒自身が活動内容を決め、過ごし方を考えるなど自主性を重視したものでした。さらに、校外フリースクールを「イオン長久手」のホールに新たに設けるなど、生徒が通いやすい環境が整備され、本市でも参考になると思います。

また、県からの要請で、平日に校外で親子が学びや体験をする機会を設ける日として年に3回、「ラーケーションの日」が設定されています。

最新設備の学校給食共同調理場

総事業費約41億5500万

産業建設 常任委員会

10月28〔29〕日、佐賀県の神崎市と佐賀市を訪問し、行政視察を行いました。

史跡や自然を生かした公園整備

神崎市は、インクルーシブ遊具や山を有効活用した公園等を整備されています。

日の隈公園キッズパークでは「健康」「インクルーシブ」「大型複合」と遊具エリアを整備されており、対象を問わない全市民型の公園となっています。

また、高取山公園は、斜面を利用したローラー滑り台を中心に、自然を生かした公園となっています。運営は指定管理により観光協会が担っており、効率化が図られていました。

本市は園部公園の改修を控えています。これらの公園の良いところを参考に、融合した整備計画が望まれます。

下水汚泥を肥料として有効活用

下水汚泥を肥料として活用し、



佐賀県神崎市の公園を視察

広報広聴 委員会

11月13〔14〕日、愛知県の瀬戸市と岩倉市を訪問し、行政視察を行いました。

「せとまちトーク」で意見交換

瀬戸市では、市民との意見交換の場として「せとまちトーク」に取り組みられています。常任委員会での研究課題をテーマに、定期的の実施されています。また、市民からの多様な意見を幅広く聴くため、テーマを設けず意見交換をするグループを設けることもあるとのこと。単に要望を聴く場ということではなく、政策資源を得る場として活用されています。

本市においても「出前おしゃべり青空議会」や「議会報告会」で市民の声をお聴きしていますが、それを議会として活用できているとはいえない状況です。瀬戸市の事例を参考に、より良い活動につなげていきたいと思っています。



瀬戸市での視察

意見は全てホームページに掲載

岩倉市は、「ふれあいトーク」と名付けた報告会・意見交換会を開催されています。市民からの意見については、全てホームページに掲載しているとのこと。また、広報紙の編集に関しては、「議会広報フリニック」などで研修し、わかりやすく、読みやすい工夫を日々続けておられます。他市の取り組みは刺激になることも多く、今後の参考にしていきたいと思っています。

広報広聴 委員会

音訳グループと意見交換

「音訳版かけはし」の実現へ

11月8日、広報広聴委員会では、美山町の音訳ボランティア「美山こだまグループ」の皆さんと意見交換を行いました。

美山こだまグループは、広報紙などを読んでCDに録音し、市内在住の視覚障害者の方に届ける活動をされている団体で、議会だより「かけはし」を担当いただいています。

意見交換会では、「紙面がリニューアルされて読みやすくなった」「分かりにくい言葉には注釈をつけてほしい」といったご意見や、「研修会を開催して読み手の技術を磨いている」「制度*を利用されていない方でも音訳を必要とする方があれば助けになりたい」など活動に対する前向きな思いも聞かせていただきました。



「美山こだまグループ」の皆さんと意見交換

※「日常生活用具給付事業」のこと。対象者や給付額に制限がある。

委員会では、グループの要望を受け、「音訳版かけはし」を市社協の協力のもと市議会ホームページに掲載しました。

今後もいただいた意見や要望をもとに、誰もが読みやすい紙面づくりに取り組んでいきます。



八木で開催
10月27日、八木農村
環境公園で開催された
「氷室の郷 収穫まつ
り」の会場で、6回目
となる「出前でおしゃ
べり青空議会」を開催
しました。

当日は晴天に恵まれ
来場者の皆さんと活発
に意見交換を行い、64
件の貴重なご意見をい
ただきました。



市内4カ所で開催
8年ぶり
11月16日・17日、市
内4カ所（日吉・美
山・園部・八木）の会
場で、議会報告会なら
びに意見交換会を開催
しました。議会として
8年ぶりの開催となり
ましたが、各会場に来
場いただいた方々と多
様な意見交換ができま
した。

お詫びと
訂正

市議会だより第75号で、次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。

4、5ページ

表「会計別決算額の状況」における水道事業会計資本的収支の支出額

誤▼7億634円 正▼7億634万円

議員研修会

これからの議会、一般質問の在り方など学ぶ

10月22日、元広島県廿日市市副市長の川本達志氏^{たつし}を講師に、「これからの地方議会のあり方と一般質問の仕方」をテーマに議員研修を行いました。

研修で講師は、「住民に最も近い存在の地方議会こそが、人口減少や超少子化社会などこれからの時代の政策形成に大きな役割を持つ必要がある」とし、「政策形成の仕組みを議会につくることが必要」と話されました。

本議会では、近年、さまざまな機会を通じて広聴活動に取り組んでいます。お聴きした意見等を政策形成につなげていく仕組みづくりを検討していくこととしており、大変参考となりました。

また、一般質問についての講演では、「一般質問は単なる問いではなく、執行部との政策競争の機会。制度を精査し、現場



これからの議会の在り方と一般質問について学んだ研修会

市長へ提言

「小学校跡施設の今後について」をテーマに、総務常任委員会が行った事務事業調査の報告及び提言を受け、本市議会として、南丹市議会基本条例に基づき、市長に対し次のとおり提言しました。

【提言】

既に各施設と個別協議を進めていく段階にあると思われるので、今後のサウンディング調査を含め、それぞれの地域団体としっかりした対話すること。



総務常任委員会 所管事務調査報告書（抜粋）

1. 各振興会等団体に願うこと
平成29年から開所となっていった活性化センターの活動は、何もないところから始まったとは思えないほど、どこも活発で、施設や組織に対しての愛着をひしひしと感じた。組織が存続し、後継者を得て発展することを願う。
2. 地域振興に必要なこと
ずっとここに居続けたい、住んでみたいというまち、魅力あるまちにしていきたい。地域住民の力が欠かせない。地域振興は、地域住民が主体となり行政の支援を得ながら取り組んでいくことが望ましい。
3. 今回の調査で感じたこと
施設の譲渡、一部譲渡、返還については納得をされていないように見受けられた。振興会等、地域の団体とお互いに連携できればもっと可能性があるように思われる。市にとってもメリットがもっとあるのではないかと。既に各施設と個別協議を進めていく段階にあると思われる。今後のサウンディング調査も含め、それぞれの地域団体としっかりした対話が必要と考える。

陳 情

陳情は、請願と同じような性格を持つものですが、明確な法律上の規定がないため、各議会において取り扱いが異なる場合があります。本市議会の場合は、原則として、提出された陳情・要望書は配布のみで、今後の議案審査等の参考としています。

- 対外的情報省を設立し、食料危機に対応することを求める意見書の提出に関する陳情書
社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」 代表 加藤 克助
- 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章

請 願

国や地方公共団体の機関に対し、文書で意見などを述べること。提出された請願は、関係する所管の常任委員会で審査した後、本会議で「採択」「不採択」を決定します。採択した場合は、関係機関に意見書等を提出するなどして、その実現に努力するように求めます。

不採択

- 地域活性化センターの指定管理継続に関する請願書**
- 【請願の要旨】**
1. 地域活性化センターを継続して地域振興会等が指定管理することを求める。
 2. 指定管理期間中は、可能な限り現行の指定管理料とすることを求める。

新庄地域振興会	会長	池上 幸一
西本梅地域振興会	会長	畑 一
住みよいむらづくり協議会	会長	上原 文和

議長あいさつ



南丹市議会議長

谷尻 昌史

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、つつがなく良き新年を迎えることとお慶び申し上げます。

はじめに、昨年度能登半島を襲った地震と豪雨により被害に遭われた皆さまへ、心からの御見舞いを申し上げ、被災された地域の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、南丹市では、基金に頼らない財政運営を図るため、6年10月の「財政健全化プラン緊急対策」において、歳出の見直しと歳入の確保を柱に緊急かつ具体的な取り組みを進めるとされました。中でも、補助金等や事務事業の見直しなどは、市民の皆さまに影響があることから議会では今後とも議論を重ねます。

また、委員会の報告に基づく、小学校跡施設指定管理への提言書も市長に提出したところであります。

7年度は集中健全化期間の最終年度ではありますが、市民の皆さまが将来に希望を抱き、住んで良かったと実感できる南丹市となるよう、議員一丸となって、その役割を全うしてまいります。

結びにあたり、皆さまのご多幸とご繁栄を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

次回3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/16	2/17	2/18 本会議（開会） 予算特別委員会	2/19	2/20	2/21	2/22
2/23	2/24	2/25 本会議 （代表質問）（一般質問）（一般質問）	2/26	2/27	2/28	1
2	3	4 常任委員会	5	6	7	8
9	10	11 本会議	12 予算分科会	13	14	15
16	17	18 予算分科会	19	20	21	22
23	24	25 予算特別委員会	26	27	28 本会議（閉会）	29

※2月18日（火）午後5時までに提出された請願・陳情等は、3月定例会で取り扱われます。会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。

※本会議は、ケーブルテレビやインターネットで中継しています。

編集後記

市議会だより「かけはし」は、市議会議員で構成される広報部員8名が担当しており、市民の皆さまに議会活動をわかりやすくお伝えできる紙面づくりを目指して取り組んでいます。

予算内容、委員会での議論、一般質問での市長とのやり取りなど、議会で行われている

のかを知っていただくことが目的です。左記のQRコードより皆さまのご意見をぜひお聞かせください。

（H・H）

南丹市政へのご意見箱



市議会だより『かけはし』 No.76
2025.1.24

■発行／南丹市議会
■編集／広報広聴委員会 広報部会
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47番地
TEL.0771-68-0059（直通）FAX.0771-63-0350
e-mail gikai@city.nantan.lg.jp
http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/



公式Facebook

広報広聴委員会

委員長／若井 睦巳
広報部会長／河野 啓介
副部会長／吉田 尋子
委員／樋口 浩之 堤 博明 平田 聖治
山下 秋則 小中 昭
広聴部会長／塩貝 孝之
副部会長／下間 康広